



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 株式会社ビー・エム・エル 上場取引所 東
コード番号 4694 URL <https://www.bml.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)近藤 健介
問合せ先責任者 (役職名)代表取締役専務執行役員 (氏名)武部 憲尚 (TEL)03(3350)0111
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月4日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	70,109	△16.2	5,123	△66.8	5,275	△66.1	3,355	△67.5
2023年3月期第2四半期	83,712	△12.5	15,448	△43.9	15,572	△45.2	10,332	△44.9

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 3,464百万円 (△66.9%) 2023年3月期第2四半期 10,463百万円 (△45.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	86.08	86.05
2023年3月期第2四半期	261.80	261.63

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	168,779	127,540	73.1
2023年3月期	168,943	126,751	72.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 123,344百万円 2023年3月期 122,467百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	40.00	—	60.00	100.00
2024年3月期	—	40.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	135,000	△15.3	11,500	△52.0	11,800	△51.2	7,600	△51.2	194.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社、除外 — 社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期2Q	42,294,426株	2023年3月期	42,613,626株
2024年3月期2Q	3,310,287株	2023年3月期	3,594,264株
2024年3月期2Q	38,976,441株	2023年3月期2Q	39,469,424株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. その他	9
販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用及び所得環境に改善の動きが見られ、各種政策の効果もあり緩やかな回復傾向が続きました。しかしながら、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっています。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響にも十分注意する必要があります。

このような経済環境のもと受託臨床検査業界におきましては、2年毎に実施されている診療報酬改定年度に当たらず、検体検査に係る保険点数（公定価格）の引き下げはなかったものの、新型コロナウイルス関連の検査数が減少していることに加えて、業者間競争が続いていることから事業環境は引き続き厳しい状況にあります。

こうした中で、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高70,109百万円（前年同期比16.2%減）、営業利益5,123百万円（前年同期比66.8%減）、経常利益5,275百万円（前年同期比66.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,355百万円（前年同期比67.5%減）となりました。当社グループにおきましては、既存検査の受託数・売上高は増加したものの、新型コロナウイルス関連の検査数が減少したことや、インフレに伴う資材コストの上昇の影響により、売上高及び利益ともに減少しました。

以下に事業別の概況を報告いたします。

臨床検査事業につきましては、新規獲得を図るとともに、既存ユーザーに対する新規検査項目・独自検査項目・重点検査項目拡販等の深耕営業を実施することで業績の拡大を図りました。しかしながら、新型コロナウイルス関連の検査数が減少した影響が大きく、臨床検査事業の売上高は前年同期比17.7%の減収となりました。

食品衛生事業につきましては、社会経済活動が回復したことで、コロナ禍前の環境に戻りつつあります。このような中、店舗点検・微生物検査等の食品検査の受託数が堅調に推移したことで、売上高は前年同期比3.1%の増収となりました。

以上の結果、検査事業の売上高は前年同期比17.1%の減収となりました。

医療情報システム事業では、オンライン資格確認の導入が増加したことや、保守売上高が設置台数の増加に伴い堅調に推移したことで、前年同期比4.4%の増収となりました。なお、クラウド型電子カルテについては、急速に導入施設数が増加した結果、サービスレベルを維持するためのリソースの増強が必要と判断し、販売を一時停止いたしました。

その他事業につきましては、治験実施医療機関支援（SMO）業務で睡眠障害の大型案件への対応や症例獲得数が増加しました。また、調剤薬局事業で診療報酬（薬価）引き下げの影響はあるものの、新型コロナウイルス治療薬の処方箋枚数が増加したことにより、前年同期比10.4%の増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の連結財政状態は、総資産168,779百万円（前期末比164百万円減）、純資産127,540百万円（前期末比789百万円増）、自己資本比率73.1%（前期末比0.6%増）となっています。

主な増減項目は、資産の部では流動資産で現金及び預金が1,646百万円、流動資産その他が3,100百万円、それぞれ減少した一方、有形固定資産合計が5,293百万円増加しています。負債の部では流動負債で支払手形及び買掛金が1,144百万円減少しています。純資産の部では自己株式が673百万円増加しています。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前年同期に比べ6,279百万円減少し、81,064百万円となりました。各活動区別のキャッシュ・フローの状況及び主な増減要因は、以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、10,994百万円の資金収入（前年同期比4,563百万円収入増）となりました。主な増減項目は、税金等調整前四半期純利益で10,558百万円の収入減、売上債権の増減額で4,761百万円の収入減となった一方、法人税等の支払額で11,732百万円の支出減、法人税等の還付金で1,976百万円の収入増となっています。加えて、未払消費税等の増減額においては前年同期が3,299百万円の支出だったのに対し、当四半期では152百万円の収入となったことも挙げられます。

投資活動によるキャッシュ・フローは、9,334百万円の資金支出（前年同期比6,189百万円支出増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が5,860百万円増加したことなどによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、3,356百万円の資金支出（前年同期比946百万円支出減）となりました。これは主に配当金の支払額が1,052百万円減少となったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、期初の予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	86,521	84,875
受取手形及び売掛金	26,783	26,114
商品及び製品	359	433
仕掛品	800	644
原材料及び貯蔵品	3,624	3,453
その他	4,835	1,734
貸倒引当金	△47	△63
流動資産合計	122,877	117,192
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	35,150	40,444
有形固定資産合計	35,150	40,444
無形固定資産		
その他	4,542	4,627
無形固定資産合計	4,542	4,627
投資その他の資産		
その他	6,490	6,632
貸倒引当金	△116	△116
投資その他の資産合計	6,373	6,515
固定資産合計	46,066	51,587
資産合計	168,943	168,779
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,094	18,950
賞与引当金	3,720	3,732
その他	11,567	11,585
流動負債合計	35,383	34,268
固定負債		
退職給付に係る負債	3,244	3,259
役員退職慰労引当金	223	215
その他	3,340	3,495
固定負債合計	6,809	6,969
負債合計	42,192	41,238

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,045	6,045
資本剰余金	6,646	6,646
利益剰余金	118,378	118,610
自己株式	△8,902	△8,229
株主資本合計	122,169	123,074
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	268	269
退職給付に係る調整累計額	29	1
その他の包括利益累計額合計	298	270
新株予約権	23	23
非支配株主持分	4,260	4,172
純資産合計	126,751	127,540
負債純資産合計	168,943	168,779

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	83,712	70,109
売上原価	49,486	46,508
売上総利益	34,226	23,601
販売費及び一般管理費	18,778	18,477
営業利益	15,448	5,123
営業外収益		
受取配当金	18	82
その他	206	154
営業外収益合計	224	237
営業外費用		
支払利息	19	25
設備賃貸費用	—	30
その他	80	29
営業外費用合計	100	85
経常利益	15,572	5,275
特別利益		
固定資産売却益	0	3
投資有価証券売却益	215	—
その他	2	—
特別利益合計	217	3
特別損失		
固定資産除却損	13	57
その他	1	4
特別損失合計	14	62
税金等調整前四半期純利益	15,774	5,216
法人税、住民税及び事業税	4,735	1,788
法人税等調整額	315	△64
法人税等合計	5,051	1,724
四半期純利益	10,723	3,492
非支配株主に帰属する四半期純利益	390	136
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,332	3,355

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	10,723	3,492
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△206	1
退職給付に係る調整額	△53	△28
その他の包括利益合計	△259	△27
四半期包括利益	10,463	3,464
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,073	3,327
非支配株主に係る四半期包括利益	389	136

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	15,774	5,216
減価償却費	2,940	3,192
投資有価証券売却損益 (△は益)	△215	—
固定資産除却損	13	57
売上債権の増減額 (△は増加)	5,429	668
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△82	254
仕入債務の増減額 (△は減少)	△208	△1,144
未収消費税等の増減額 (△は増加)	—	1,243
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△3,299	152
その他	△1,426	41
小計	18,926	9,682
法人税等の支払額	△12,529	△796
法人税等の還付額	74	2,051
その他	△41	56
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,431	10,994
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,848	△2,775
定期預金の払戻による収入	2,803	2,725
有形固定資産の取得による支出	△2,422	△8,283
無形固定資産の取得による支出	△961	△908
投資有価証券の売却による収入	404	—
その他	△119	△93
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,144	△9,334
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△692	△784
配当金の支払額	△3,393	△2,341
非支配株主への配当金の支払額	△211	△224
その他	△4	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,302	△3,356
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,016	△1,696
現金及び現金同等物の期首残高	88,360	82,760
現金及び現金同等物の四半期末残高	87,343	81,064

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

該当事項はありません。

3. その他

販売の状況

検査区分		前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)		増減率(%)
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
検査事業	臨床検査事業					
	生化学的検査	25,731	30.7	26,773	38.2	4.1
	血液学的検査	5,418	6.5	5,640	8.0	4.1
	免疫学的検査	12,950	15.5	13,474	19.2	4.0
	微生物学的検査	3,167	3.8	3,478	5.0	9.8
	病理学的検査	4,434	5.3	4,643	6.6	4.7
	その他検査	26,548	31.7	10,381	14.8	△60.9
	(臨床検査事業小計)	78,251	93.5	64,391	91.8	△17.7
	食品衛生事業	2,190	2.6	2,258	3.2	3.1
検査事業小計	80,441	96.1	66,650	95.1	△17.1	
医療情報システム事業		2,536	3.0	2,647	3.8	4.4
その他事業		735	0.9	811	1.1	10.4
合計		83,712	100.0	70,109	100.0	△16.2

(検査事業における名称の変更)

第1四半期連結会計期間より、ステークホルダーに対し解りやすい名称を使用することを目的として、従来「食品検査事業」としておりました名称を「食品衛生事業」に変更しております。

この変更は名称の変更であり、販売の状況に与える影響はありません。